

# ねりまの文化財

## 東京文化財ウィーク2014

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、ウィーク期間中の特別公開と、通年公開があります。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編、通年公開編、9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎11階)・石神井公園ふるさと文化館・区内図書館等で配布する予定。

### 企画事業 「ねりまの遺跡を学び 土器に触れてみよう！」

普段生活している足元に、貴重な遺跡が埋まっていることを知り、身近に感じ、遺跡を守ることの大切さを学習します。

区内の遺跡と発掘調査方法についての講義をうけたあと、縄文土器などに触れるだけでなく、洗浄など基礎整理作業を体験してみましよう。

◆日時 10月2日(木) 午後1時～4時

◆場所 生涯学習センター分館 高野台2-25-1

(旧総合教育センター)

◆交通 西武池袋線練馬高野台駅 下車徒歩12分

練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
(伝統文化係)  
〒176-8501  
練馬区豊玉北 6-12-1  
TEL.03 (5984) 2442



◆申込 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、9月15日までに伝統文化係へ(1グループ1枚でも可。ただし参加者全員分記入)

◆募集人数 30名 (応募者多数の場合は抽選)

◆問合せ 伝統文化係

### 企画事業 尾崎遺跡(都指定史跡) 出土品解説会

尾崎遺跡は、春日小学校建設の時に遺跡が発見され、発掘調査が行われました。旧石器時代から江戸時代の遺構や遺物が出土しました。遺跡の解説と出土品について学芸員が解説します。

◆日時 10月26日(日) 午前10時と午後2時の2回

申し込み不要、直接現地へ

◆場所 春日小学校内資料展示室 (春日町5-12)

◆交通 練馬春日町駅(都営大江戸線) 下車 徒歩8分

◆問合せ 伝統文化係



9000年前の縄文土器



生涯学習センター分館  
西武バス「谷原総合体育館」下車  
徒歩2分(練馬駅北口～成増町)

**石神井公園ふるさと文化館**  
 (指定管理者・練馬区文化振興協会)  
**東京文化財ウィーク関連事業**

●特別展 『型紙の美 武蔵大学蔵  
 「朝田家型紙コレクション」―幕末から明治の染めの世界―』

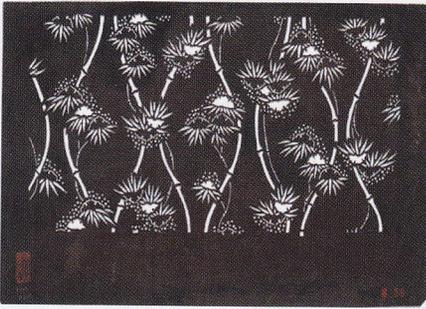
(武蔵大学との共催展)

着物の細かい小紋染め、浴衣を彩る素敵なデザイン……。そうした染織の美を支えているのが、染めを支える精巧な「型紙」です。

平成24年度、区内の武蔵大学に京都府宮津市の紺屋・朝田家より、幕末から明治期まで使用された約3千枚の型紙などの資料が寄贈されました。

型彫り技術の素晴らしさ、デザインの粋、和紙の素材の力強さ。型紙の世界は、人を魅了してやみません。

型紙や明治期の服飾など約百点の資料を展示するほか、伝統工芸である染めの技術も紹介いたします。



型紙の一例

【期間】 9月27日(土)～11月16日(日) 午前9時～午後6時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館

企画展示室およびギャラリー

【特別展観覧料】 一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳

未満・障害者手帳をお持ちの方150円、中学生以下と75歳

以上無料

●古民家解説会

ふるさと文化館に隣接する旧内田家住宅について解説するほか、近隣区古民家の見どころも紹介します。

【日時】 10月26日(日)

午後1時30分～午後3時

【講師】 山口隆太郎氏(北区飛鳥山博物館学芸員)

【申込】 25名(事前申込制)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡)の発掘調査の様子や出土品などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】 10月25日(土)

～11月5日(水)

午前9時30分～午後4時30分

【場所】 都立石神井公園内石神井城跡

(三宝寺池南の台地上・石神井台1丁目)

【申込】 不要、直接会場へ

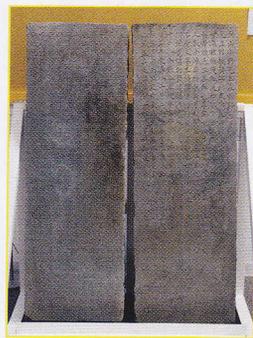
●特別公開 「小野蘭山墓誌」の公開展示

小野蘭山(一七二九―一八一〇)は江戸時代中期の本草学者(博物学者)です。蘭山の事績を記した墓誌は、平成17年の墓石移転にともなう調査で見られたもので、風雨等からの劣化を防ぐため、現在石神井公園ふるさと文化館で保管しています。普段は見ることのできない墓誌を特別公開します。

【期間】 10月18日(土)～11月6日(木) 午前9時～午後6時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館 常設展示室

【入館料】 無料



小野蘭山の墓誌

【問合せ】 石神井公園ふるさと文化館

(石神井町6-12-1) 電話

03(3996)4060

休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその直後の祝日でない日)

詳細はふるさと文化館ホームページ

(<http://www.netribun.or.jp/furusato.html>) をご覧ください。

第26回練馬区伝統工芸展

今年も、区内で継承されている匠の技の数々が会場を石神井公園区民交流センターから、練馬駅隣接のココネリに移して開催されます。

◆日時 10月24日(金)～26日(日) 午前10時～午後6時

◆会場 区民・産業プラザ「Coconeri」(ココネリ)3F「Coconeriホール」/産業イベントコーナー

- ◆出展種目 江戸刺繍/江戸木彫刻/江戸筆/江戸表具/籐工芸/尺八/手織/東京額縁/東京染小紋/東京建具/東京彫金/東京手描友禅/組紐/螺鈿蒔絵/和裁
- ◆内容 展示・実演・販売・体験ほか
- ◆主催 練馬区伝統工芸会
- ◆後援 練馬区・練馬区教育委員会・練馬区観光協会



「昨年の様子(東京彫金)」

# 文化財保護推進員の活動を紹介します

練馬区では、昭和63年から文化財保護条例に基づき、文化財保護推進員制度を導入しています。

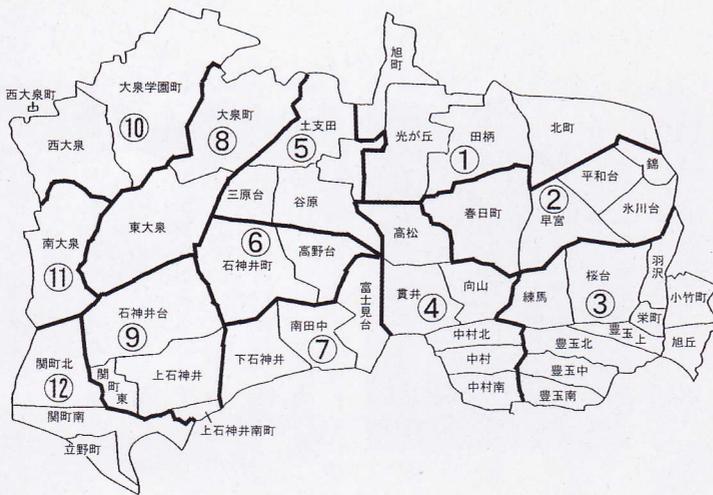
文化財保護推進員の主な仕事は、区内の文化財の巡視を行い、保存状況の把握に努め、文化財の保護・保存のための活動をしています。

平成26年4月1日付で、第14期練馬区文化財保護推進員として、12名を委嘱しました。

推進員の任期は2年ですが、その間、各推進員は、自分の担当する地域の文化財の巡回や調査を行います。巡回の際に、文化財の所有者の方に文化財の現状のお話を伺っています。また、文化財の近所にお住いの方に対しても、情報収集を行い、文化財保護のための地道な活動をしています。

これらの活動成果は、年3回開催している、文化財保護推進員連絡会で報告され、区では文化財の現在の状況を把握し、必要に応じた対応を行っています。これらの活動以外にも、区主催の文化財関連事業への協力を通して、文化財の保護、普及に努めています。

区民の皆様が、区内の文化財に関心を持たれるとともに、文化財保護推進員の活動にご理解とご協力をお願いします。



①田澤健男



②飯田静江



③八巻孝夫



④平田英二



⑤鷲田芳夫



⑥須賀頼子



⑦岩崎秀男



⑧徳川達子



⑨長坂淳子



⑩相澤博子



⑪松下真理



⑫鈴木義範

## 石造物の移転情報

区内の路傍や寺院・神社の境内には、庚申塔や馬頭観音、地藏菩薩をはじめ数多くの石造物が建てられています。事情により移転を余儀なくされる石造物もありますが、移設先でも大切にされています。

### ◇中村三丁目の地藏菩薩立像など

中村3-2にあった「首つぎ地藏」の名で知られる地藏菩薩立像、および寛政11年(一七九九)銘のある聖観音供養塔などは、中村1-15南蔵院の境内へ移設されました。



### ◇富士見台一丁目の庚申塔

富士見台1-19の辻にあった安永5年(一七七六)銘のある庚申塔は、高野台3-10長命寺の境内へ移設されました。

### ◇練馬三丁目の石造物

練馬3-24の辻にあった文政7年(一八二四)銘のある石造物を掘り出したところ、西国・坂東・秩父百番巡礼を記念して建てた巡拝塔と道標とを兼ねていることがわかりました。練馬三丁目公園に移設する予定です。

# 国指定・登録、都指定の文化財を公開しています

区内には国指定・登録、都指定の文化財がいくつもあることをご存知でしょうか。ここでは、そのうち普段観覧できる文化財を紹介いたします。

## 練馬白山神社の大ケヤキ

（国指定天然記念物）

白山神社の2株のケヤキは、いずれも樹齢約90年と推定される全国でも有数の巨木です。永保3年（一〇八三）、源義家が「後三年の役」で東北地方に向かう際に戦勝を祈願して苗木を奉納したと伝えられています。

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅（西武豊島線・都営大江戸線）下車 徒歩5分



## 三宝寺池沼沢植物群落

（国指定天然記念物）

三宝寺池の中央にある「中の島（浮島）」周辺を範囲として指定されています。

す。コウホネ、ミツガシワ、ハンゲシヨウ、カキツバタなどの水生植物を中心に貴重な植物相がみられます。

【所在】石神井台1-27ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅（西武池袋線）

下車 徒歩15分



## 牧野記念庭園

（国登録記念物）

（牧野富太郎宅跡）

世界的に著名な植物学者である牧野富太郎（一八六二—一九五七）が、大正15年から逝去するまでの30年余り居住した住宅と庭の跡です。

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅（西武池袋線）

下車 徒歩5分

【開園時間】午前9時～午後5時

※火曜日休園

【問合せ】牧野記念庭園

03(39922)2920

## 石神井城跡

（都指定史跡）

石神井川の水源の一つである三宝寺池の南側台地に石神井城跡があります。南北朝・室町時代に石神井川流域を支配した豊島氏の拠点でした。文化財ウィーク期間中は、城跡の主郭内が特別公開されます。

問合せ・石神井公園サービスセンター

03(3996)3950

【所在・交通】

「三宝寺池沼沢植物群落」と同じ

## 小野蘭山墓及び墓誌

（都指定有形文化財）

池永道雲墓（都指定旧跡）

小野蘭山（一七二九—一八一〇）は江戸時代中期の本草学者（博物学者）、池永道雲（一六七四—一七三七）は書家・篆刻家です。両墓ともに大正12年（一九二三）の関東大震災の罹災により、昭和の初めに浅草から現在地に移転しました。小野蘭山の墓誌は、現在石神井公園ふるさと文化館で保管しており、文化財ウィーク期間中に同館で展示します（詳細は2頁）。

【墓の所在地】練馬4-27

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

迎接院・受用院墓地内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩5分

## 東高野山奥之院

（都指定史跡）

長命寺の境内西部にある霊場域です。長命寺は江戸時代に紀州高野山の霊場を模して整備されたので「東高野山」と呼ばれます。奥之院への参道には石塔や石仏等が多く建ち並んでいます。

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅（西武池袋線）

下車 徒歩5分



## 丸山東遺跡方形周溝墓

（都指定有形文化財）

出土品（都指定有形文化財）

大泉町三、四丁目目に所在した丸山東遺跡の方形周溝墓4号を中心に出土した弥生土器12点・ガラス玉71点・管玉5点・鉄剣1口です。武蔵野台地における弥生時代後期の方形周溝墓一括出土品として秀逸です。

【所在】石神井公園ふるさと文化館

